

日田市立

大明小

学校

令和7年 月 日

検証・改善フローシート

月ごとのや学期途中での検証・改善に繰り返し使用できます。

確認・検証・改善【回目】

月 日()実施

【学校の教育目標】		ふるさとに誇りを持ち、人間性豊かにたくましく生き抜く児童生徒の育成 ～学びあい 支えあい みがきあい～			資質・能力との関連		担当	(評価 4:100%以上 3:80%以上100%未満 2:60%以上80%未満 1:60%未満 ※%は達成率)				学校関係者評価 (月 日)	
【育成を目指す資質・能力】		聞く力・伝える力			知識	思考・表現力	力・人間に向かう 学・び 涵養性等の 間性等の	取組状況の確認	達成状況の確認	達成指標・取組指標の妥当性を 検証	評価	改善方法	
重点目標	達成指標		重点的取組	取組指標	指導部	取組状況(エビデンス)	実施率	達成状況(エビデンス)	達成率	検証	評価	改善方法	指標別 全体
	○ 「自分から進んで挨拶ができる」とA評価回答する児童の割合を70%以上 1学期 6.2% 【達成率88%】 2学期 6.5. 9% 【達成率92%】 3学期 6.4. 6% 【達成率91%】		学校	○ 基本的な生活習慣の習得(凡事徹底6項目) ・元気よくあいさつ・返事をします ・時間を守って行動します ・そうじにしっかり取り組みます ・身だしなみをきちんとします ・ていねいな言葉づかいをします ・はきものをきちんとそろえます		○ 教職員は日常的にあいさつの指導を行い、小学校朝会であいさつの良い人を紹介する。	○						
	○ 「生活目標を守って生活している」とA評価回答する児童の割合を70%以上 1学期 6.3. 4% 【達成率90%】 2学期 7.4. 8% 【達成率105%】 3学期 7.6. 1% 【達成率108%】		家庭	○ メディアルールを守った生活		○ 家族で話し合い生活チェックカードのめあてを決め、目標を達成できるように、保護者が声かけによるサポートを行う。		○					
			地域	○ あいさつと声かけの推進		○ 地域全体で育友会との連携を図り、毎朝のあいさつ運動や「あいさつプラス1」の活動を行う	○						
	○ 「授業で、自分の意見や振り返りを書くことができた。」の児童の肯定的評価を8.5%		学校	○ 「伝え合う場」を設定した、行事や授業での取り組み		○ 授業者は、ペア・グループ学習において考え方を伝え合う時間を1日1回以上授業時に設定する。 大明タイムで聞く力・伝える力に関連した活動を週1回行う。	○						
	○ 「授業や行事などで、ペア交流や発表、感想発表などができる。」の児童の肯定的評価を8.0%以上		家庭	○ 思ったことや考えたこと等を「書く活動」を設定した授業		○ 授業者は児童が発表したり、考え方を交流したりする場面でICTを活用した活動を月1回以上取り組む。	○						
			地域	○ ICTを活用した授業の推進									
	○ 「家庭での親子読書の推進」 ○ 「親子での会話」 ○ 「地域と共にある学校」に向けた支援		○ 保護者は、読書週間の取り組みを学期に1回行う。 ○ 読書週間中は読書の内容についての会話を取り組む。										
	○ 「地域と共にある学校」に向けた支援												
人とのつながりふるさとを愛する心の育成	○児童アンケート「友だちのいいところを見つけ、伝えることができた」のA回答を90%以上にする。 1学期 8.3. 5% 【達成率92%】 2学期 7.2. 6% 【達成率80%】 3学期 7.8. 1% 【達成率86%】		学校	○ 集団活動の充実	○ 教職員は望ましい人間関係の視点で肯定的評価を行うとともに、児童同士の振り返りの場を設定し、個々の児童の意見のよさを伝える。 ○ 「えがおの花」カード等によって友だちの良さを見つけあう活動を学級や全校で推進する		○			教務部	評価	改善方法	指標別 全体
	○ 「地域やふるさとが好き」とA評価回答する児童の割合を90%以上にする。 1学期 9.1. 9% 【達成率101%】 2学期 9.4. 1% 【達成率104%】 3学期 9.1% 【達成率101%】		家庭	○ 家庭でのつながり(家庭版「えがおの花」活動)の推進	○ 家庭は、学期に1回「笑顔の花カード」に子どものいいところを見つけて記入する。		○						
			地域	○ 総合的な学習の時間への参画	○ 地域は、ゲストティーチャーとして、授業・体験活動・探究活動等に学校の要請に基づいて協力する。		○						
	○ 最終退勤時間を守った教職員の割合85%以上 1学期 5.8% 【達成率68%】 2学期 5.2% 【達成率61%】 3学期 5.0% 【達成率58%】		学校等	○ 業務の見直し、改善と教職員のワークライフバランスの推進	○ 月1回校内労働安全衛生委員会を開催。 業務の共通理解と見直し、改善等を行う 学期に1回、計画年休取得期間を設定する								
	○ 教職員アンケート「効率的な働き方に努めている」の項目で肯定的な回答割合を90%以上 1学期 10.0% 【達成率111%】 2学期 10.0% 【達成率111%】 3学期 10.0% 【達成率111%】			○ 効率的な活動の実施	○ 勤務時間外で行う育友会活動を20:30までに終了するよう協力する(開始時刻の変更を含む)。								
				学校支援活動の推進	学校運営協議会において学校の働き方改革の話し合いを持ち、学校を支援する。								
効果・効率的な働き方の推進			管理部							評価	改善方法	指標別 全体	